

【冬休みの職員研修の様子から】



校内の学力向上委員会が主催して「授業アンケートから考える3学期の授業」と題して、生徒の声をどのように授業に生かすか考えたり、生徒の内発的動機づけを高める問いかけについて話し合ったりしました。生徒の主体的に学びを深められる授業構想や導入のアイデアを共有し合い有意義な研修となりました。



「飲酒運転根絶のための研修」では、グループ毎に過去の飲酒運転の事例から事故の原因や傾向を分析した後、予防策を全体で共有し、次の飲酒運転防止3か条を作りました。

- 1 酒席に自家用車で参加しない
- 2 事前に帰宅方法を確認する
- 3 解散前に家族の写真を見る



長野県立美術館の学芸員を招いて「対話型鑑賞」の研修を行いました。県内美術館の作品カードを使ったゲームや対話型鑑賞の体験を通して「みる」・「考える」ことが子どもたちの想像力や観察力を伸ばし、「話す」・「きく」ことがコミュニケーション能力の向上につながることを学びました。

また、今回の研修の講師の「ファシリテーター的な生徒への関わり」を授業に生かし、生徒の問題解決能力や主体的思考力、コミュニケーション能力などの育成を図る「対話型授業」を進めたいと感じました。